

ロボットスーツ HAL® 導入

リハビリ通信

～ 革命編 ～

理学療法士 菅根 利明

近年技術の進歩に伴い、私たちの生活は豊かになり“便利”というものを手に入れるためにさらなる研究や開発が行われています。

医療の世界でも、その技術の進歩はめざましいものがあり、診断や治療に使われるCT・MRI・超音波などはより安全で早く正確な診断に役立てるようになりました。私たちの生活に身近なところではテレビ・携帯電話・コンピュータなど多くの技術も同様であり、その恩恵に預かっています。

この度、須藤病院では、将来的に非常に期待されている、“ロボット”の導入を試みることになりました。これは、病気・ケガによって障害を持ってしまった方々の脚の動きを補助し、歩行の手助けをしてくれるロボットです。簡単に申しますと、最近普及しつつある電動アシスト自転車のようなものと言えるでしょう。

ロボットは全てを自動化して歩行させる道具ではなく、障害によって動きづらくなった脚の部分のわずかな電気信号をセンサーが検出して、モーターが動きを補助してくれる仕組みです。実際の日常生活の中で実

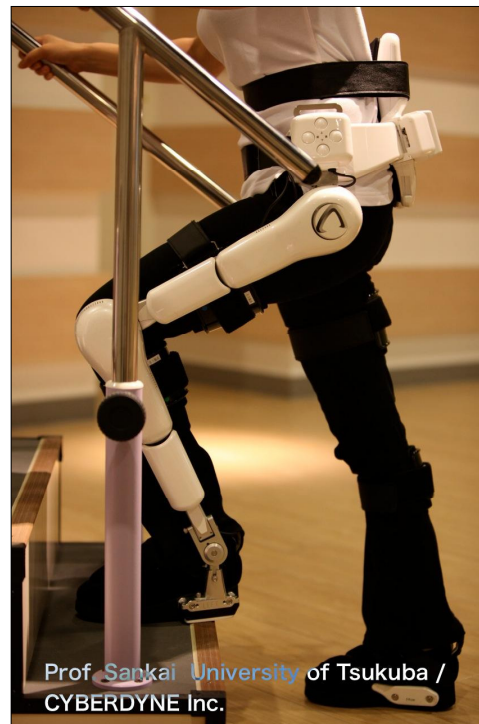
用化するのにはまだまだ難しいですが、施設におけるリハビリテーションの場面では、このロボットを装着し歩行時の脚の動かし方を練習することが出来ます。

障害によって練習しても、十分な範囲を動かすことが出来なかった脚に、動かし方を教えることが出来るのです。これは「運動学習」と言い神経と筋肉を使った動きのシステムを、上達させてくれるものです。そして、反復して練習することによって、スポーツをするのと同じく、動きがさらに上達していくものと考えられます。

少しでも障害の回復の手助けになれるよう期待しており、私どもリハビリテーション部では、ロボットを使った練習を行っていきたいと思います。実際の導入時期は5月中旬を予定しております。詳しくはリハビリテーション部(菅根)までどうぞ。



Prof.Sankai University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.



Prof.Sankai University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

『ロボットスーツHAL』®は、日本国または外国におけるCYBERDYNE(株)の登録商標です。

広報誌オアシス 制作 広報委員会
〒379-0116 群馬県安中市安中3532-5 TEL(027)382-3131 FAX (027) 382-6568

診察券による受付になりました。診察券をお忘れなくお持ち下さい。 須藤病院 TEL 027 (382) 3131